

9月25日（月） 2023年度秋季リーグ戦第4節3回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
和歌大	0	1	0	0	3	0	1	0	0	5
大公大	2	1	0	0	0	0	0	0	1	4

和歌山大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	二	伊東	2	星林	4	2	1	
2	右	古賀	4	富島	4	0	1	
3	左	岡	4	和歌山商業	4	2	1	
4	一	木村	2	桐蔭	4	0	0	
5	三	高桑	4	金津	4	2	1	
	走三	今井	3	近畿大学泉州	0	0	0	
6	中	吉村	3	向陽	4	0	0	
7	指	山中	4	生野	4	1	0	
8	遊	川端	2	市立姫路	3	2	0	
9	捕	延命	4	水口東	3	2	1	
投		野村	3	広島新庄	-	-	-	
		沖原	4	有馬	-	-	-	
		島	3	履正社	-	-	-	
		船引	4	兵庫星稜	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	9	4	4	0	0	34	11	5

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	米麦	4	高松商業	3	1	1	
2	左	真銅	4	佐久長聖	3	0	0	
3	指	中村	3	西京	3	1	0	
	走指	根来	1	生野	0	0	0	
4	一	中西	4	川西緑台	4	1	2	
5	二	大西優	4	豊田西	4	2	0	
	走	樋口	2	刈谷	0	0	0	
6	捕	高内	4	彦根東	3	0	0	
7	右	北野	4	水口東	4	0	0	
8	三	楠橋	4	今治西	2	0	0	
9	遊	疋田	2	広島新庄	4	2	1	
投		正中	4	小野	-	-	-	
		青野	4	高松	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	5	7	1	2	0	30	7	4

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
野村	0	11	2	0	0	0	2	2	2
沖原	6	78	23	20	4	4	2	1	0
島	2 2/3	44	11	9	3	1	2	1	1
船引	1/3	8	2	1	0	0	1	0	0
合計	9	141	38	30	7	5	7	4	3

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
正中	7	125	34	34	11	6	2	5	5
青野	2	30	8	4	0	3	2	0	0
合計	9	155	42	34	11	9	4	5	5

【戦評】

優勝を争う和歌山大学との最終戦。必ず勝利し、優勝に繋げたい大一番に挑みました。

本日先発を任された正中（商4・小野）は、初回、先頭打者に安打を許し、犠打などで三塁まで進塁を許しますが、先制点を与えません。

その裏、米麦（商4・高松商業）、眞銅（経4・佐久長聖）の1・2番コンビが連続四球で出塁し、相手の先発投手を交代させる勢いを見せます。続く3番中村（文3・西京）が、代り端投手相手に犠打を決め、一死二三塁のチャンスを作ります。ここで頼れる4番中西（経4・川西緑台）がレフト方向への適時打を打ち、2点を先制します。

2回表、2本の安打で1点を返されます。

2回裏、ここで大公大打線も攻撃を止めません。足田（工2・広島新庄）は、内野安打に相手の失策が絡み、一気に三塁まで進みます。続く今季好調の米麦がレフト方向へ二塁打を打ち、1点を追加。リードを広げます。

3・4回、正中は調子を取り戻し、三者凡退で抑えます。

一方、攻撃では3回、大西優（経4・豊田西）が二塁打、高内（経4・彦根東）が四球で出塁し、二死一二塁のチャンスを作りますが、あと1本が出ず、無得点で終えます。

5回表、ここで和歌大打線の猛攻を受けます。先頭打者から三者連続で安打を浴び、内野ゴロの間に走者が帰還し、同点に追いつかれます。その後も適時打が飛び出し、この回一挙3点を返され、勝ち越しを許します。

1点ビハインドで迎えた5・6回の攻撃では、相手投手の好投を前に打線が沈黙し、得点を挙げられません。

これ以上リードを広げられたくない7回の守備。2本の安打を浴び、1点を失います。しかし、最少失点で抑えます。

何とか追いつきたい大公大打線は、7回の攻撃で、先頭の楠橋（商4・今治西）が持ち前の選球眼を活かし、四球で出塁します。しかし、後続が併殺打や内野飛で打ち取られ、得点に繋げることができません。

絶対に点を与えたくない守備。8回、マウンドを託されたのは青野（法4・高松）。四球で出塁を許しますが、2つの三振を奪う頼もしい投球で、味方の援護を待ちます。

青野の好投に何とか応えたい8回の攻撃。中村が右前安打を打ちますが、後続が併殺打に打ち取られ、2点ビハインドで最終回を迎えます。

最終回も青野にマウンドを託します。この回も四球で走者を出しますが、落ち着いた投球でその後の打者を打ち取り、攻撃陣に託します。

追いつき、サヨナラ勝利へ持ち込みたい最終回の攻撃。先頭の大西優が右前安打を打ち、チームを活気づけます。二死ながら走者一二塁のチャンスで迎えた打者は足田。適時打を打ち、1点を返します。米麦が申告敬遠により出塁し、二死満塁。迎えた打者は頼もしい副主将・眞銅。あと1本で同点のチャンスでしたが、内野ゴロで打ち取られ、試合終了。4 - 5で敗戦致しました。